

○事業の目的

国内外からの観光客を呼び込むため、府内主要駅で、多言語での乗継案内を強化し、旅行者の受入環境を整備する。

○取組み内容

新大阪駅や難波駅など府内13駅で案内サイン、デジタルサイネージによる乗継案内を充実・強化

《事業の内容》

駅構内などにおいて、多言語による案内モニター（他路線やバスなどの乗継や運行情報などを表示）や、経路床面案内標示（乗継や行先情報などを表示）等を新たに整備又は拡充する鉄道事業者に対して、事業費の1/2を補助



【R1年度】
難波駅



【R2年度】
西九条駅

○取組効果

駅係員から、利用者の声や係員への問い合わせの減少など整備効果について高い評価を得た。



《現場スタッフの声》

案内する際には「足元の表示に沿って進んで下さい」で終わることができるのでスムーズに案内でき、安心して目的に向かって頂けるようになった

《現場スタッフからの今後の取組みにかかる提案の声》

「デジタルサイネージの案内を携帯で写す利用者がいるので情報をプリントアウトできたらいい」「視覚と併せて音声案内があるとよい」

○今後のさらなる取組み

2025年大阪・関西万博開催への着実な準備のため、これまで整備した案内情報システム等のストックを活用し、スマートフォン等により利用者の多様なニーズに対応した案内を充実予定

【事業イメージ】



QRコードから行先案内等をダウンロード